



会員の皆さん、こんにちは。体温を超えるような猛暑が続いておりますが、体調を崩されてはいないでしょうか。こまめな水分摂取や、適切に冷房を使用するなどして熱中症には十分気を付けていきましょう。さて、直前のお知らせとなりすみません。8月19日(土)、じゅうろくフラザにて、第23回糖尿病インフォマティクス学会年次学術集会の市民公開講座が開催されます。「インフォマティクス」とは、あまり耳なじみのない言葉かもしれませんが、情報科学という意味です。インフォマティクスは皆さんの日常生活や治療を支援し、地域の糖尿病診療にも貢献しています。佐賀大学 肝臓・糖尿病・内分泌内科の安西慶三先生にご講演いただく予定です。この機会に、一緒にインフォマティクスの世界をのぞいてみませんか。事前申し込みは不要です。定員は先着50名となっておりますので、ぜひ会場に足を運んでみてください。

今月は、4月から当科に入職した伊澤先生に、「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。

本年度入局いたしました伊澤啓太と申します。今月号の「さかえ」の見どころについて皆様にご紹介させていただきます。

まずは特集1「インスリンポンプによる治療の進歩 (P.5)」です。インスリンポンプとは、注入ポンプを用いてインスリンを持続的に皮下に注入する治療法です。近年はデバイスの進歩が進んでおり、リアルタイムに間質液中のグルコース濃度を測定できるCGMと連動させることでインスリン量を自動調整してくれるものも登場しました。今最もアツい現代医療の最先端の一つであるインスリンポンプの特徴や歴史が紹介されていますので、ぜひご一読ください。

特集2は「気を付けよう！夏場にも多い脳梗塞 (P.17)」です。脳梗塞は、脳に血流を送る血管が詰まってしまい、脳が酸欠状態になることで様々な症状を起こす疾患です。糖尿病の大血管合併症の一つでもある脳梗塞はどのように発症するのか、夏に気を付けなければならない理由とは？予防法は？といった、糖尿病をもつ方のみならず、すべての現代人が知っておくべき内容になっています。一緒に学んでいきましょう。

特別企画1は「糖尿病と入浴 (P.28)」です。これらの関係について考えたことはありますか？私たち日本人にとって身近で健康に良さそうな入浴ですが、入浴中の急死は全国で年間1万4000人にも上ります。最新の研究により少しずつ分かってきた入浴の効果やリスク、安全な入浴方法について学びましょう。

最後にご紹介するのは特別企画2「糖尿病と尿の困りごと (P.33)」です。糖尿病に伴う排尿トラブルに悩まされている方は少なくありません。詳しく載っているので、この機会に一緒に勉強しましょう。

また、連載漫画の「さあ千分率の子どもたち (P.11)」第2回や、「運動療法のチエとワザ (P.14)」最終回、「数理糖尿病学を知っていますか？ (P.46)」最終回など、魅力的な連載コンテンツも盛りだくさんです。

蒸し暑い日々が続きますが、どうか熱中症に気を付けてお過ごしください。冷房の効いた涼しいお部屋での読書に、ぜひ「さかえ」をどうぞ！

